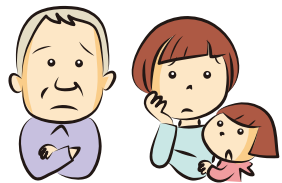


市民サービスを削って進める 大型事業計画をやめよ



京都市は、京プラン実施計画で600億円もの市民サービスと福祉経費を削る一方で、リニア中央新幹線や北陸新幹線誘致など大型開発の公共事業を計画。撤回するよう求めましたが、市長は「未来の京都への先行投資」と強弁。「未来への投資」というのなら、市民の暮らし、子どもや若者のために充てるべきです。

違法「民泊」は厳しく規制し、 「住んでよし、訪れてよし」の京都へ



このカギを見たら一報を

京都は今、外国人観光客誘致のためのホテル建設ラッシュとともに、違法「民泊」が激増しています。このままでは京都らしさがなくなります。「住んでよし、訪れてよし」を観光政策の基本に据え、頑張る中小の旅館を支援し、国の「民泊新法」ができて違法「民泊」に毅然と対応し、厳しく規制するよう求めました。

代表質問、予算委員会で要求

予算
市会報告

市民の命と暮らし、 京都らしさを守る市政を



美術館ネーミングライツの撤回を



市民の大切な財産である美術館を50億円で名前だけでなく、京セラの企業活動の宣伝に売り渡すネーミングライツ。契約の撤回を求めましたが、「美術館の魅力を高める」と居直り。「市庁舎や学校は対象にしない」と言いますが、「学校がダメで、美術館はなぜいいのか？」との指摘にまともに答弁できず。

住民の安全を第一に、 原子力防災対策の策定を



「原発再稼働に反対すべき」との質問に「やむをえず再稼働する場合は、世界最高水準とされる新規規制基準を厳格に適用して」と再稼働を容認。視察した兵庫県篠山市の「住民の命と安全を守るために、全住民への安定ヨウ素剤事前配布と原子力災害対策マニュアルを策定する」姿勢を紹介し、対策の充実を求めましたが、冷たく拒否。



日本共産党
京都市会議員

井坂博文

いさかひろふみ

✉ shikai@isaka-hirohumi.jp

井坂博文



大宮交通公園への 北消防署移転計画の見直しを

市民に親しまれている公園の敷地内に消防署を移転する計画は、移転候補地の検討経過すら利用者や地域住民に全く説明していません。住民合意も住民参加もない計画は撤回すべきです。



嵐電北野白梅町駅舎の 割れた窓ガラスの改修を

「観光客へのおもてなし」と言いながら、ふさわしくありません。周辺住民と一緒に署名を集め、京福電鉄に申し入れ。議会でも取り上げると、「改善を求めて会社と協議したい」と答弁。

地域で要求実現にがんばっています。